

10月 October

- 2日 行政視察（宮崎県門川町議会）／行政視察（千葉県香取市議会、神崎町議会）
- 4日 赤い羽根共同募金活動
- 7日 行政視察（宮崎県串間市議会）
- 8日 議会だより編集小委員会
- 9日 市民と語る小委員会／行政視察（茨城県ひたちなか市議会）／行政視察（神奈川県大井町議会）
- 13日 市スポーツ協会設立70周年記念式典式典（議長）
- 14日 議会運営委員会／議会だより編集小委員会
- 15日 行政視察（鹿児島県市議会議長会）
- 17日 行政視察（新潟県十日町市議会）
- 20日 全員協議会／広聴広報特別委員会／各常任委員会／議会だより編集小委員会
- 21日 戦没者追悼式
- 23日 行政視察（高知県室戸市議会）
- 25日～26日 市産業まつり（議会ブース出展）
- 26日 第19回横田あゆの里まつり（議長）
- 28日 議会だより編集小委員会
- 29日 いわたの地域づくり道づくりを考える大会（議長）／行政視察（東京都大田区議会）
- 30日 行政視察（千葉県袖ヶ浦市議会）
- 31日 市民と語る小委員会／沿岸広域振興局大船渡各センター所長等との情報交換会

11月 November

- 6日 市勢功労者表彰式／議会だより編集小委員会／行政視察（石川県金沢市議会）
- 7日 行政視察（長野県伊那市議会）
- 9日 災害初期対応訓練／秋季消防演習
- 12日 市老人クラブ連合会芸能発表会（議長）
- 15日 気仙芸術祭第38回美術展開会式（議長）
- 17日 岩手・宮城県際市町議会議長会 要望活動（議長）
- 18日 気仙地区議会議員協議会対県要望（正副議長）
- 19日 岩手県市議会議長会議員研修会
- 20日 全員協議会／市民と語る小委員会／産業建設常任委員会
- 21日 陸前高田市議会・一関市議会・気仙沼市議会議員交流会
- 22日 陸前高田市福祉大会（議長）／陸前高田商工会優良従業員表彰式（副議長）
- 23日 在京陸前高田人会
- 25日 議会運営委員会／会派代表者会／総務常任委員会
- 28日 本会議／全員協議会／広聴広報特別委員会／各常任委員会／議会だより編集小委員会
- 29日 奥州市市制施行20周年記念式典（議長）

12月 December

- 1日 民生委員児童委員協議会臨時総会（副議長）
- 2日 本会議（一般質問）
- 3日 本会議（一般質問）
- 4日 本会議（一般質問）／予算等特別委員会
- 5日 予算等特別委員会
- 8日 総務・教育民生・産業建設常任委員会連合審査会／議会だより編集小委員会
- 9日 各常任委員会
- 10日 各小委員会
- 12日 本会議／全員協議会
- 15日 議会だより編集小委員会
- 19日 議会だより編集小委員会
- 22日 総務常任委員会
- 23日 市民と語る小委員会
- 25日 議会だより編集小委員会
- 26日 沿岸都市議会連絡会議対県要望（議長）

議会だより編集小委員会

委員長	福田利喜
副委員長	大和田加代子
委員	佐々木良一
委員	菅野秀一
委員	伊勢純
委員	同 佐々木一義

印刷／(有)第一印刷

第23回

★市内の団体や個人を紹介します。

がんばってます!!

◆菊池畳店

3.5代目 菊池沙也加さん

菊池沙也加さん（37）は、高田町で3代続く製畳業を営む家に生まれた生粋の高田っ子。約10年前に家業を継ぐことを決心し、現在は竹駒町上壺にある仮設だった店舗でそのまま営業を続けています。仕事と子育てを両立している3女1男のお母さんにスポットを当てました。



家業を継ごうと思ったのは、当時、アルバイト先の店主に相談をし、勧められたというのもありましたが、本来継ぐはずだった兄（勇輝さん）を震災で亡くし、自分と家業の将来を考えて決断しました。そんな経緯も

あり兄が「3代目」で、自分は「3.5代目」と思っています。

父（純一さん）のもと、仕事を覚え、日々製畳業に勤しんでいます。主に個人の畳の入れ替えが多いのですが、総じて畳の需要自体が減り、市内の同業者も減る一方なので、不安もあります。しかし、自分なりにイ草を使った小物雑貨を作ってイベント等への出店、販売をすることや、他業種とつながりを持つことで、畳の良さを広げたいと思っています。

子育てについては、父母の力も借りながらですが、育児を始めた7年前より保育環境がだいぶ良くなっていると思います。送り迎えは相変わらずたいへんですけど…。



★畳縁製ブックカバー

議会へひとこと

もっと市内のこども（人口）を増やす手立てをしっかりと考えて欲しい。一番下の子の同級生が市内で49人しかいません。自分のこどもだった頃と比べると、ちょっと寂しい。知恵やアイデアを出し合い、陸前高田の将来に向けた考えをつくっていてもらえることを願っています。

寒中お見舞い申し上げます。早いもので、新しい年も半月程が過ぎました。すでに正月気分も抜け、日常に戻ったところでしょうか。

寒が明け、虫たちが動き出すと東日本大震災から15年を迎えます。誰にも平等に与えられたこの間の「時」ですが、その中身は千差万別。一つとして同じものはありませんし、一人ひとりの行動の結果として今のまちがあるのだと思います。

今日という日は
二度と来ない
二度と来ない
来ない日が
毎日来る

星野富弘
「今日という日」より

15年後の被災地に住むものとして、これからのまちについて語り合いませんか。二度と来ない今日という日の想いを明日のまちづくりにいかしていきましよう。

（大和田加代子）

あとかき